

専修学校・各種学校長各位

財団法人 専修学校教育振興会
理事長 福田益和

公
印
省
略

財団法人専修学校教育振興会
『専修学校等教職員向けキャリア・サポーター養成講座』
開催のご案内

東日本大震災により被災されました地域の方々におかれましては、心より御見舞申し上げます。

さて、ご周知のとおり、“就職”や“職業”に対する近年の学生の意識につきましては、「自己分析・自己理解の不足」「主体性の欠如」「コミュニケーション能力の低下」等が指摘され、それらを一因とする「未就労」や「早期離職」等が解決すべき重要な課題と言われております。

本財団では、学生のキャリア意識の育成のために日々ご尽力されている専修学校・各種学校教職員の皆様にとりまして、キャリア教育推進の一助となるべく、平成15・16年度に文部科学省の委託を受け、教職員向け研修プログラム「キャリア・サポーター養成講座（IBCSM講座）」を開発いたしました。

以来、例年ご好評を頂いております本講座を、本年度も以下の日程で開催いたしますので、同封の募集要項をご覧のうえ、奮ってご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

◆東京会場 平成23年8月16日(火)～18日(木) 於：日本電子専門学校

※お申し込み期限：8月1日(月)

◆大阪会場 平成23年8月23日(火)～25日(木) 於：ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪

※お申し込み期限：8月8日(月)

≪「キャリア・サポーター養成講座」とは・・・≫

★専修学校等のなかに“キャリア・サポート”＝「学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援する」という理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を養成する独自のプログラムです。

★例年、参加者からは、本来の目的の達成（キャリア・サポート・マインドの養成）に加えて、3日間の講座で教職員自身が様々なグループワークを体験したことにより、“**普段の授業方法の見直し（体験学習型の授業の取り入れ等）にも役立った**”という感想を頂いています。

★修了基準を満たした受講者は「財団法人専修学校教育振興会／キャリアサポーター」として認定・登録されます。「専修学校教育振興会／キャリアサポーター」は財団法人専修学校教育振興会の登録商標です。

★平成22年度までの講座開催回数は合計22回、全国からの参加者は合計236校414名。専教振主催にて東京・大阪で開催した他に、都道府県協会・学校法人等主催により北海道・長野・静岡・島根・山口・沖縄の6地区でも実施しました。

★本財団では、平成21年度に**キャリア・サポート実践のために活用可能な教材「チーム学習型キャリア教育ワークブック『やる気の根っこ』**を開発し、**現在、全国販売いたしております**。本財団ホームページ(http://www.sgec.or.jp/sgec_new/yaruki/yaruki_frameset.html)に概要を含む報告書を掲載しております。

＜お問合せ・お申込み先＞ 財団法人専修学校教育振興会 事務局 総務課 稲本・岡田
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688 e-mail：csms@sgec.or.jp



平成23年度
専修学校等教職員向け
キャリア・サポーター養成講座

《募集要項》

財団法人 専修学校教育振興会

専修学校・各種学校長各位

東日本大震災により被災されました地域の方々におかれましては、心より御見舞申し上げます。

さて、本財団では専修学校・各種学校での**キャリア・サポート<学生生徒が自分自身のキャリア(仕事人生)を主体的に設計・選択・決定できるように支援すること>**を推進するために、教職員が有すべきマインド(態度や姿勢・考え方)を養成する独自のプログラム『専修学校等教職員向けキャリア・サポーター養成講座』及びその講師(「キャリア・サポーター養成トレーナー」)養成研修を実施しております(両研修の関係は下図をご参照ください)。

本年も、専修学校・各種学校の教職員を対象としました「キャリア・サポーター養成講座」を、実施要項のとおり、8月に東京と大阪で開催いたします。修了基準を満たした受講者は「財団法人専修学校教育振興会/キャリア・サポーター」として認定・登録いたします。

毎年、受講された方々からは、講座本来の目的の達成(キャリア・サポート・マインドの養成)はもちろんのこと、その研修効果に加えて、3日間の講座を通じて教職員自身が様々なグループワークを体験することにより、「普段の授業方法の見直し(体験学習型の授業の取り入れ等)にも有効である」との高い評価を頂いております。

つきましては、貴校教職員のご参加を賜りたくご案内申し上げますので、ご推薦いただきます教職員の方につきまして、「推薦書兼受講申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリにてご返信ください。

最後に、本案内7~8ページにて「チーム学習型キャリア教育ワークブック『やる気の根っこ』を紹介しております。キャリア・サポーター養成講座と合わせて、採用をご検討ください。

平成23年 5月

財団法人 専修学校教育振興会
理事長 福田 益和

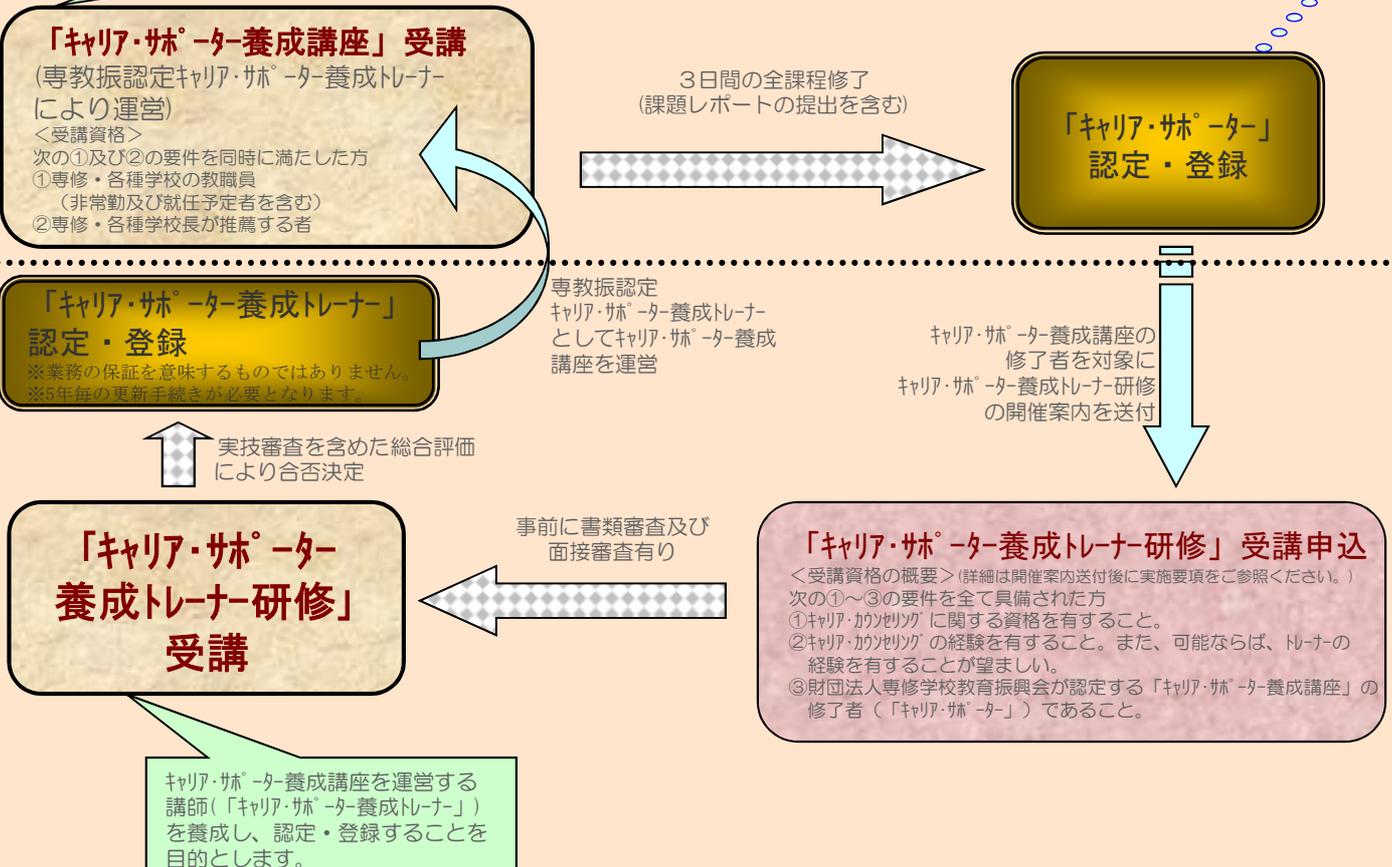
◆昨年度より講座名称を「キャリア・サポート・マインド養成講座(CSM講座)」から「キャリア・サポーター養成講座」に変更しました。「専修学校教育振興会/キャリアサポーター」は財団法人専修学校教育振興会の登録商標です。◆

財団法人専修学校教育振興会 「キャリア・サポーター養成講座」と「キャリア・サポーター養成トレーナー研修」について

「キャリア・サポーター養成講座」と「キャリア・サポーター養成トレーナー研修」の関係は下図のとおりです。このうち「キャリア・サポーター養成トレーナー研修」は、「キャリア・サポーター養成講座」を修了して「キャリア・サポーター」として認定・登録された方で、トレーナー養成研修の開催案内を希望された方宛に開催案内を直接お送りします。貴校教職員より「キャリア・サポーター養成トレーナー研修」の受講希望がございましたら、ご高配の程お願い申し上げます。

学生生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方を側面支援し、学生生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要なとされるマインド(態度や姿勢・考え方)を養成することを目的とします。
※平成19年度より、「キャリア・サポーター養成講座」は、専教振のほかに、各都道府県協会・学校法人等による開催が可能となりました(実施を希望される都道府県協会・学校法人等は、専教振事務局までお問い合わせください)。

本財団では、キャリア・サポートの実践に役立つ学生向け教材「チーム学習型キャリア教育ワークブック『やる気の根っこ』」を開発しました。
詳細は、本案内巻末をご参照ください。



財団法人専修学校教育振興会

『専修学校等教職員向けキャリア・サポーター養成講座』

平成23年度 実施要項

【1.目的】

学生生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方などを側面支援し、学生生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要とされるマインド（態度や姿勢・考え方）を養成することを目的とします。

【2.日程】

※グループワークを中心とした内容となります。また、修了要件にもかかわりますので、全日程を通じての参加をお願いします。部分参加、日程途中からの参加者変更はご遠慮ください。

<東京会場>

第1日目 平成23年8月16日(火) 10:00~18:00
 第2日目 // 17日(水) 9:00~17:00
 第3日目 // 18日(木) //

<大阪会場>

第1日目 平成23年8月23日(火) 10:00~18:00
 第2日目 // 24日(水) 9:00~17:00
 第3日目 // 25日(木) //

※講座初日のみ開始・終了時刻が異なります。ご注意ください。
 ※両会場ともに全日程、昼食をご用意いたします。

【3.修了基準】

3日間の全課程を履修後、1週間以内にレポートをご提出いただきます（課題内容等の詳細は講座のなかで説明いたします）。レポート内容は、担当トレーナーによる確認を経た後、キャリア・サポート事業運営委員会が審査します。審査の結果、修了が認められると、「キャリア・サポーター認定証」が授与され、認定・登録されます。

【4.場所】

<東京会場> 日本電子専門学校

東京都新宿区百人町1-25-4
<http://www.jec.ac.jp/access/>

<大阪会場> ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪

大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25
<http://www.trajal.info/access/index.html>

【5.認定講師】

<東京会場>

神山恵美子氏（下記プロフィール参照）

<大阪会場>

財津香壽子氏（下記プロフィール参照）

※担当講師は都合により変更となる場合があります。

【6.定員】

原則として、**各会場24名**までとさせていただきます。
 ※なるべく多くの学校に受講いただくため、原則として1校につき1名の受講とさせていただきます。
 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
 ※申込が1会場12名未満の場合、中止とさせていただきます。

【7.受講資格】

次の①及び②の要件を同時に満たした方。

- ①専修・各種学校の教職員であること。
 （非常勤及び就任予定者を含む）
- ②専修・各種学校長が推薦する者であること。

【8.受講料】

1名 80,000円
 （教材費、昼食代、審査及び認定・登録料を含みます。）
 ※移動に伴う交通費・宿泊費は含みません。各自で手配願います。
 ※受講料は、お振り込みのお願いを当方からご連絡した後、受講前までに下記口座にご送金ください。
みずほ銀行 九段支店（普通）2386904
（財）専修学校教育振興会
<振込手数料は貴校にてご負担ください。>
 ※受講料の返金はいたしかねます。受講申込後、開講前までに当初の受講希望者が受講不能となった場合は、受講資格を満たす別の方の全日程出席をお願いします。
 ※研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。

【9.申込方法】

本案内6ページ目の「推薦書兼受講申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。
 →申込先FAX : 03(3230)2688

<お問い合わせ先>

〒102-0073
 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階
 財団法人専修学校教育振興会 総務課 稲本・岡田宛
 TEL : 03(3230)4814 e-mail : csm@ssec.or.jp

【10.申込期限】

<東京会場> 平成23年8月1日(月)
 <大阪会場> // 8月8日(月)
 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
 ※申込FAX受付次第、受講希望者ご本人様に、受付完了の電子メールをお送りいたします。

★認定講師プロフィール★

東京会場 キャリア・サポーター養成トレーナー 神山恵美子氏 (KOHYAMA EMIKO)

帯広コア専門学校 理事長
 財団法人専修学校教育振興会
 キャリア・サポート教材開発研究委員会 委員



<経歴>

- 北海道札幌市生まれ
- 日本アイ・ピー・エム株式会社に9年間勤務。エンジニアとして開発に携わる一方、新しいテクノロジーのプロモーション活動を担当した。
- コア学園グループに転職し、ITコーディネータとして企業のコンサルタント業務や、小学生向けウェブサイトの運営に携わる。
- 現在は東京のコア学園本部に勤務。企業研修やセミナーの企画運営や講師活動を行う。帯広コア専門学校では「ビジネスコミュニケーション」の授業なども担当している。

<資格>

- 産業カウンセラー（日本産業カウンセラー協会認定）
- キャリア・サポーター養成トレーナー（財団法人専修学校教育振興会認定）

★認定講師プロフィール★

大阪会場 キャリア・サポーター養成トレーナー 財津香壽子氏 (ZAITSU KAZUKO)

ILPお茶の水医療福祉専門学校 副校長
 財団法人専修学校教育振興会
 キャリア・サポート教材開発研究委員会 委員



<経歴>

- 福岡市生まれ
- 朝日新聞東京本社宣伝部に勤務し、国内外からの見学者への新聞制作工程の紹介を中心とした読者サービス業務を担当。
- 福岡市に戻り、地元情報誌出版社、進学塾にて通算12年間、人事労務・総務業務を担当。新卒・中途採用、社員研修、人事制度策定等に携わる。
- 平成18年よりILPお茶の水医療福祉専門学校に勤務。学校運営に携わると共に、「キャリア・サポート・プログラム」の授業を中心としたキャリア教育、県内外の高等学校にてキャリア教育・面接・マナー講座等も担当。

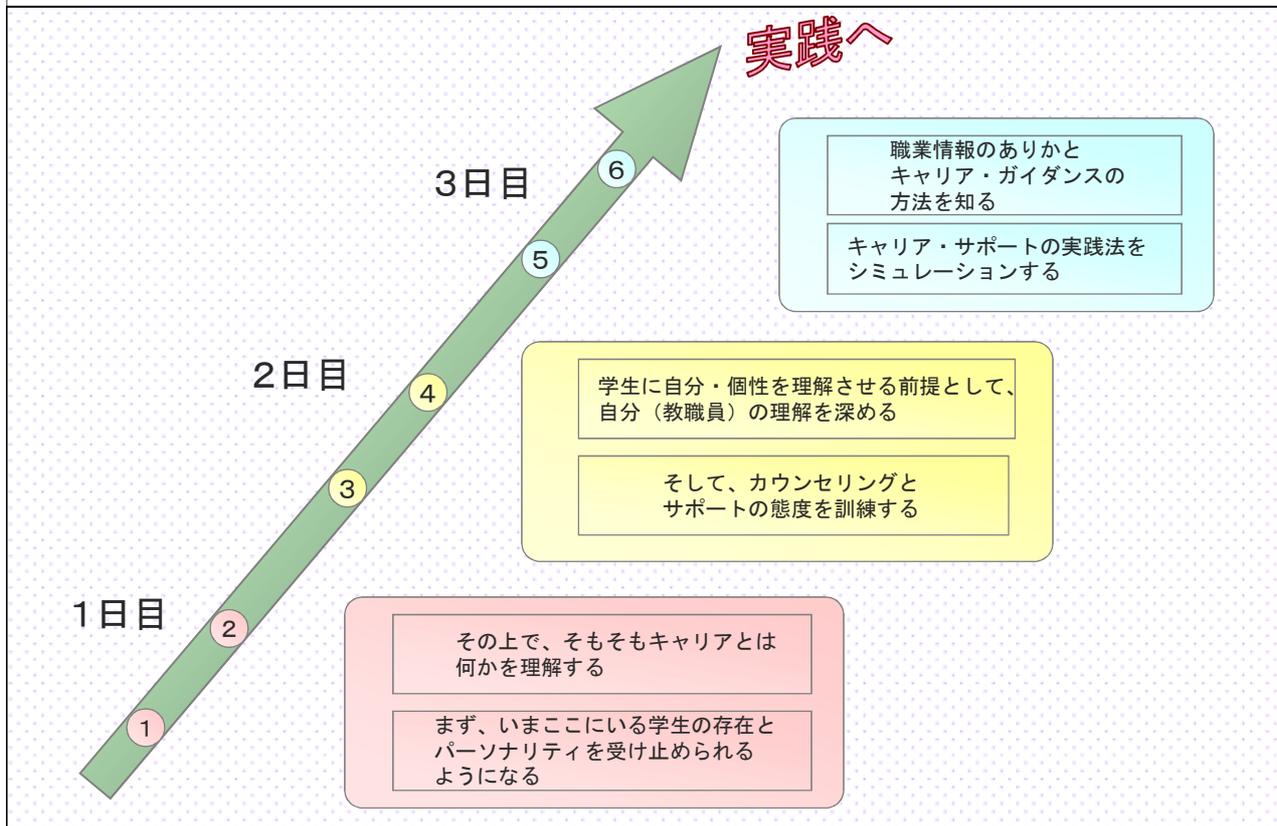
<資格>

- 2級キャリア・コンサルティング技能士（国家資格）
- 産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント（日本産業カウンセラー協会）
- ジョブ・カード講習修了登録 ●英語科教員免許
- キャリア・サポーター養成トレーナー（財団法人専修学校教育振興会認定）

全体カリキュラム(予定)

1日目(10:00~18:00)	2日目(9:00~17:00)	3日目(9:00~17:00)
<p>◆講座オリエンテーション</p> <p>1. 若者を受け止めよう</p> <p>(1)デモンストレーション バズ</p> <p>(2)学生の現状点検 グループワーク</p> <p>昼休み</p> <p>2. 仕事、キャリア、キャリア開発</p> <p>(1)私の履歴書 (ワークシート) シェアリング</p> <p>(2)仕事の根っ子 (ワークシート) シェアリング</p> <p>(3)なぜ働くのか (ワークシート) シェアリング</p> <p>◆まとめ 宿題 キャリア・アンカー診断記入</p>	<p>3. キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル</p> <p>(1)基本態度 (実習)</p> <p>(2)学生とのコミュニケーション (ロールプレイング)</p> <p>昼休み</p> <p>4. 自己理解の促進</p> <p>(1)アイデンティティ</p> <p>(2)キャリア・アンカー (検査(診断))</p> <p>(3)意思決定スタイル (検査(診断))</p> <p>(4)検査フィードバックの留意点</p> <p>(5)ライフ・キャリア (ワークシート)</p> <p>◆まとめ 宿題 VPI検査表記入</p>	<p>5. 仕事理解とキャリア・ガイダンス</p> <p>(1)職業興味と職業選択 (エクササイズ) シェアリング</p> <p>(2)職業理解とキャリア・ガイダンス 昼休み</p> <p>6. キャリア・サポートの姿</p> <p>(1)どうするキャリア・サポート (グループワーク)</p> <p>(2)実践を誓って (相互コメント)</p> <p>◆まとめ</p> <p>(注) ◇ 事情によりプログラムは時間変更することがあります。 ◇ 受講終了後のレポート提出が、修了要件となっています。</p>

研修ストーリー



受講者の声

★平成22年度 専教振カリ・姉・妹-タ-養成講座
(東京・大阪会場) ~受講者アンケートからの抜粋~

- ★キャリアについて、もっと難しく(知識が十分にないといけない、経験が浅い人には無理等)考えていた為、私自身で始められる事がある事に気付いた。
- ★グループワークで実際に手や頭を動かしてやってみるという取り組みが嬉しかったです。何より学生の気持ちや悩みも見えまし、自分自身の事も更に知りました。ずっと講義のようなものを想像していたので、実体験がある事により、知識以上に多くの事を学びました。
- ★専門学校の現状がどういものであるのか、現場の声を生で伺う事ができた点が一番の収穫となりました。また新たな気付きを就職支援の場で活かしていく事ができると思います。キャリアについて、あまりご存知でない方が参加される方がよりプラスになるのでは...とも感じました。
- ★勤務先に於いてキャリア教育を本格導入する為のきっかけが作れたと思います。出来る所から継続して実施していきたいと思います。

- ★自己を知る良い機会となりました。自己を知り、就職へ向けて準備していく事の重要性も改めて必要なのだと感じました。私が学生の頃にはキャリア・サポートも何も無く就職したが、今の学生にはとても必要なのかも感じました。
- ★ふたん学生と接するとき、教員であるが故に、つついりーディングしてしまっていました。まず、それに気付かされました。理論ではなく、実習をする事により、より一層心に沁みました。
- ★キャリア・サポートに関する知識や技術の習得はもちろんですが、様々な価値観や事情を持った方たちとの出会いが宝ものになり、またその人たちとの交流が勉強になりました。
- ★教員、学生共にスキルアップにつながる内容だと思いました。学生の話も聞いて、押し付けずアドバイスできたらいいなと感じます。ロールプレイングで自分の長所、短所に気付かされました。

「キャリア・サポーター」在籍校一覧

◆平成16~22年度までに「キャリア・姉・妹-タ-養成講座」を修了し、「キャリア・サポーター」として認定された方々の所属校名(講座参加当時の学校名)とキャリア・サポーター在籍人数です。

学校名の掲載に同意いただけなかった場合は、都道府県名と人数のみを掲載しました。

◆北海道 帯広コア専門学校3名、専修学校ロシア極東大函館校1名、札幌リハビリテーション専門学校1名、札幌医療科学専門学校1名、北海道エコ・コミュニケーション専門学校1名、北見美容専門学校1名、北海道ハイテクノロジー専門学校2名、経専医療事務薬業専門学校5名、経専音楽放送芸術専門学校10名、経専調理製菓専門学校10名、経専北海道観光専門学校4名、経専北海道どうぶつ専門学校3名、経専北海道保育専門学校14名◆青森県 東奥保育・福祉専門学校1名、専門学校アレック情報ビジネス学院1名◆岩手県 1校1名◆宮城県 東北電子専門学校2名、専門学校デジタルアート仙台1名◆秋田県 秋田経理情報専門学校1名◆山形県 山形厚生看護学校1名、専門学校山形V、カレッジ1名◆福島県 国際メディカルテクノロジー専門学校1名、ケイセンビジネス公務員カレッジ1名◆茨城県 水戸経理専門学校1名、その他1校1名◆栃木県 マロニエ医療福祉専門学校1名◆群馬県 中央情報経理専門学校高崎校1名、中央情報経理専門学校1名、高崎パットワールド専門学校1名、群馬県高等歯科衛生士学院1名◆埼玉県 アルソコンピュータ専門学校1名、中央情報専門学校1名、医学アカデミー3名、その他1校1名◆千葉県 千葉情報経理専門学校1名、国際理工専門学校2名、その他1校1名◆東京都 日本電子専門学校1名、専門学校東京テクニカルカレッジ1名、専門学校読売自動車大学校1名、専門学校ESPミュージカルアカデミー2名、日本工学院専門学校3名、日本工学院八王子専門学校2名、東京美容専門学校3名、ホスピタリティーズ専門学校3名、東京デザイン専門学校2名、山脇美術専門学校1名、国際理容美容専門学校2名、駿台法律経済専門学校1名、尚美ミュージックカレッジ専門学校3名、資生堂美容技術専門学校1名、専門学校武蔵野ファッションカレッジ1名、早稲田速記医療福祉専門学校1名、日本フラワーデザイン専門学校1名、篠原学園専門学校3名、文化学院1名、日本リハビリテーション専門学校1名、その他4校4名◆神奈川県 学校法人岩谷学園3名、岩谷学園アーツティクB専門学校1名、岩谷学園テクノロジー専門学校1名、その他3校3名◆新潟県 国際エア・リゾート専門学校1名、国際ビューティモード専門学校1名、国際ホテル・ブライダル専門学校1名、新潟こども医療専門学校1名、新潟リハビリテーション専門学校3名、日本福祉医療専門学校1名、晴陵リハビリテーション学院1名、専門学校新潟国際自動車大学校2名、その他2校2名◆富山県 富山情報ビジネス専門学校1名、富山医療福祉専門学校1名◆長野県 専門学校カレッジオブキャリア長野校3名、松本衣デザイン専門学校2名、長野ビジネスアカデミー1名、臼田経理専門学校4名、国際コンピュータビジネス専門学校2名、飯田ゆめみらいICTカレッジ1名、伊那ビジネス専門学校1名、上田情報ビジネス専門学校5名、エプソン情報科学専門学校2名、長野医療衛生専門学校1名、長野救命医療専門学校1名、長野美術専門学校2名、長野平青学園2名、松本国際工科専門学校1名、松本調理師製菓専門学校2名、丸の内ビジネス専門学校1名、その他2校2名◆岐阜県 ベルフォートアカデミーオブビューティ2名、専門学校飛騨国際工芸学園1名、中日本航空専門学校2名、専修学校中部国際自動車大学校1名◆静岡県 沼津情報・ビジネス専門学校3名、静岡産業技術専門学校1名、静岡医療学園専門学校1名、東海医療学園専門学校2名、国際医療管理専門学校浜松校1名、静岡アルス美容専門学校1名、静岡福祉医療専門学校2名、白百合洋裁専修学校1名、専門学校静岡工科自動車大学校4名、専門学校静岡電子情報カレッジ2名、専門学校浜松医療学院3名、専門学校ルネサンス・デザインアカデミー1名、中央歯科衛生士調理製菓専門学校1名、中央調理製菓専門学校静岡校2名、中遠調理師家政専門学校1名、東海調理製菓専門学校1名、東海リハビリテーション専門学校1名、浜松情報専門学校1名、浜松調理菓子専門学校2名、大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校静岡校1名、大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校1名、国際こ

学院外国語専門学校1名、東海文化専門学校3名◆愛知県 安城生活福祉高等専修学校1名、専門学校日産愛知自動車大学校2名、東海医療工学専門学校1名、専門学校トヨタ名古屋自動車大学校3名、山本学園情報文化専門学校1名、大原簿記情報医療専門学校名古屋校1名、中部楽器技術専門学校1名、名古屋栄養専門学校1名、名古屋観光専門学校1名、名古屋製菓専門学校1名、名古屋工芸学院専門学校1名、東海医療科学専門学校1名、その他1校1名◆三重県 旭理美容専門学校1名、鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校1名◆滋賀県 甲賀健康医療専門学校1名◆京都府 京都コンピュータ学院京都駅前校1名、専門学校YIC京都工科大学校6名、京都美容専門学校1名、京都調理師専門学校1名◆大阪府 大阪医療福祉専門学校1名、辻調理師専門学校3名、辻製菓専門学校1名、創造社デザイン専門学校4名、阪神家政高等専修学校2名、トライデントコンピュータ専門学校大阪1名、大阪医療技術学園専門学校1名、履正社医療スポーツ専門学校3名、大阪美容専門学校2名、大阪情報コンピュータ専門学校4名、ECCコンピュータ専門学校1名、修成建設専門学校1名、大阪工業技術専門学校2名、高津理容美容専門学校2名、大阪外語専門学校1名、その他4校6名◆兵庫県 関西保育福祉専門学校1名、神戸医療福祉専門学校三田校1名、兵庫栄養調理製菓専門学校1名、ビジネス専門学校キャリアカレッジ但馬1名、姫路福祉保育専門学校1名、その他2校2名◆奈良県 橿原美容専門学校1名、ラソーンeビジネス専門学校1名◆鳥取県 専門学校鳥取情報経理学院1名◆島根県 専門学校島根自動車工学専門学校2名、専門学校松江総合ビジネスカレッジ14名◆岡山県 専門学校岡山情報ビジネス学院1名、専門学校倉敷ファッションカレッジ1名、中国デザイン専門学校1名、専門学校岡山ビジネスカレッジ1名、専門学校ピーマックス1名、岡山科学技術専門学校1名◆広島県 穴吹デザイン専門学校1名、広島コンピュータ専門学校1名、広島ビジネス専門学校1名、広島会計学院電子専門学校1名、広島情報専門学校1名◆山口県 専門学校YICグループ学院本部6名、YICキャリアデザイン専門学校5名、YIC公務員専門学校5名、専門学校YICリハビリテーション大学校2名、YIC看護福祉専門学校4名、YICビジネスアート専門学校3名、YICビューティモード専門学校4名、徳山総合ビジネス専門学校1名◆徳島県 専門学校穴吹情報公務員カレッジ1名◆香川県 四国医療専門学校1名◆愛媛県 愛媛調理製菓専門学校1名◆高知県 高知情報ビジネス専門学校1名、国際デザイン・ビューティカレッジ2名、その他1校1名◆福岡県 九州ビジネス専門学校1名、麻生情報ビジネス専門学校1名、専門学校日本デザイナー学院1名、専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス4名、福岡航空ビジネス専門学校1名、麻生医療福祉専門学校福岡校1名、専門学校日本ビジネススクール1名、専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ1名、ILPお茶の水医療福祉専門学校1名、福岡大村美容ファッション専門学校4名◆長崎県 長崎コンピュータ専門学校1名、長崎県美容専門学校1名、九州医学技術専門学校2名、こころ医療福祉専門学校1名◆熊本県 専修学校熊本壺湯塾1名、九州工科自動車専門学校1名、その他1校2名◆大分県 明日香美容文化専門学校2名、大分スクールオブビジネス1名◆宮崎県 大原簿記公務員専門学校1名、宮崎パットワールド専門学校1名、宮崎情報ビジネス専門学校1名、宮崎福祉医療カレッジ1名、その他1校1名◆鹿児島県 鹿児島情報ビジネス専門学校1名、鹿児島外語学院1名◆沖縄県 専門学校那覇日経ビジネス工学院6名、専門学校日経ビジネス工学院1名、インターナショナルデザインアカデミー1名、沖縄福祉保育専門学校1名、尚学院国際ビジネスアカデミー5名、専門学校日経ビジネス3名、琉球調理師専修学校1名、専修学校バシフィックテクノカレッジ学院1名、その他2校3名

=(全国合計236校414名)=

※お手数ですが、コピーしてお使いください。

平成23年 月 日

推薦書兼受講申込書

(財)専教振 キャリア・サポート事業運営委員会 御中

(学校名) _____

(校長名) _____ 校印

下記の者を「専修学校等教職員向けキャリア・サポーター養成講座」の受講者として推薦し、参加を申し込みます。

【希望会場】 1. 東京 2. 大阪 (〇印をお付けください)

【貴校名】 _____

※ 受講料は原則としてお申し込みの学校名にてお振り込みください。法人名にてお振り込み予定の場合は、以下に法人名をご記入ください。

→法人名: _____

【受講希望者】

ご芳名	部署・役職名等	性別	生年月日
(フリガナ)			西暦 年 月 日

※ ご提供いただいた個人情報は、講座開催前後の事務連絡、講習時のグループ分け及び修了後の関連情報提供以外には利用いたしません。

※ 講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【受講希望者連絡先】 〒 _____

学校所在地

(TEL _____)

(FAX _____)

必ずご記入ください→ (e-mail: _____)

【受講料】 80,000円 (※研修会当日の受講料の受け渡しはご容赦ください。)

【お振込予定日】 平成23年____月____日 _____銀行_____本・支店より
(※振込手数料は貴校にてご負担ください。)

＜ご返信先＞送付状は不要です。本状のみ送信ください。

財団法人専修学校教育振興会 事務局 総務課 稲本・岡田

FAX 03-3230-2688

キャリアの設計・選択・決定が主体的にできる学生を育てる！

チーム学習型キャリア教育ワークブック

「やる気の根っこ」のご案内

財団法人専修学校教育振興会では、平成 17 年度より、専修学校におけるキャリア・サポート<学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援すること>を推進するために、教職員が有すべきマインドやスキルを養成するキャリア・サポーター養成講座（旧：CSM 講座）を実施して参りました。

講座は現在まで続き、受講いただいた 220 余校の先生方からお喜びの声を頂く一方、多くの方から「せっかく学んだマインドやスキルを学校教育の場で一層有効に活用するため、**学生用の教材を開発**して欲しい」というお声を頂戴いたしました。

そこで専修学校教育振興会では、平成 21 年度に文部科学省の補助を受け専修学校の先生方を中心とする委員会を立ち上げ教材の研究開発を行い、平成 22 年 4 月にキャリア・サポーター養成講座受講者のもとより、**キャリア教育に携わる全ての教職員がキャリア教育の現場で活用することのできる“学生用ワークブック”**としての本書を全国の皆様へご紹介させていただく運びとなりました。授業の想定時間は 15 コマ（1 コマ 90 分）。全コマを実施することにより最大の学習効果が得られるよう編集しましたが、部分実施や他の授業の一部に組み入れて利用することも可能です。

貴校様におかれましては、これを機に是非採用をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。



特長 1：チームの力を有効に活用

数多くあるキャリア教育教材とは異なり、個人個人の学習では身につけることの難しいモチベーションや、納得してやり通す意思・意欲を自らがコントロールできる力をチームの力を借りることで身につけられるよう工夫されています。

特長 2：教員用ガイドの共同研究

Web 上の SNS に、本書を利用する先生方専用のページを設け、教員用ガイドをダウンロードしていただきます（注文書に記されたメールアドレス宛にご案内いたします）。

専用ページの運営には研究開発委員会の委員もメンバーとして加わり、参加する先生方とともに本書の有効な活用方法を研究していただきます。

特長 3：リングファイル型式

ワークの中には、自分の思いを書き込んでチームのメンバーと分かち合うものや、切り取ってメンバーにプレゼントするカードが含まれます。そのため、ワークブックはリングファイル型式とし、中身の取り外しが自由に行えるようにしてあります。

見本：本教材の一部および教員用ガイドの一部を含む研究報告書を、本財団のホームページから無料でダウンロードすることができます。

定価：945 円（本体 900 円＋税）（A4版・72 ページ）

※ お申し込み方法：裏面の注文書を FAX にてご送信ください。

※ 送料・納期等の詳細は裏面の注文書をご確認ください。

2010 年 4 月 1 日 初版第 1 刷発行

発行 財団法人 専修学校教育振興会 <http://www.sgec.or.jp>

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25（私学会館別館）

TEL03(3230)4814

2011.5.10

